

多賀工業会 東京支部会報

2025年5月第28号



< 雷鳥親子 >

茨城大学工学系同窓会・多賀工業会東京支部

「不確実・不透明、正解がない時代」に“つなげる”とは！

支部長 佐藤 将彦（昭 43 学子）

多賀工業会東京支部の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
日頃より支部の運営にご理解・ご支援を賜り、心からお礼申し上げます。



去年の「同窓の集い」は、コロナよりの「復活再開」、「更なる楽しさを求めて」を合言葉・テーマに開催致しました。お陰様で各位のご協力・支援をもちまして無事に遂行できました。改めて、関係各位に御礼申し上げます。
繰り返しになりますが、コロナや経年推移で衰退しつつある、この「同窓の集い」をコロナ明け2年目でコロナ前に戻るか心配でした。懇親会中心で定着化した「同窓の集い」！ 結果的に前回参加者数（初参加は4名）より3名減になりました。しかし、「つなげる」最低限のことはできたかなと。イーブンとみても良いと思います。

ウクライナやパレスチナにおける紛争の長期化、米国や日本における政治の混迷、そして地球沸騰化様相の気候変動による災害甚大化等、「不確実・不透明な時代」の中にあり、処方箋を「見通せない」ことが多々あります。皆様如何でしょうか？

我が国においては少子化・高齢化（長寿化）が一層進み、いわゆる「団塊の世代」は全員75歳以上の（後期）高齢者となり、高齢化率が29.3%となったとの報道もありました（2024.9.16朝日）。この社会構造・現象に連動して、支部活動における、参加者固定化・少数化傾向は歯止めがかからない状況です。「同窓の集い」時のご挨拶でも述べたのですが、今や、同窓会の「存在理由・意味（レーゾンデートル）」が問われている時期に入ってきたと感じます。コロナ発生により、従来のが非常に識扱いになったり、多様化が進みこの時期の過ごし方に選択肢がふえたり、定年の引上げ等、支部活動参加の逆風が顕在化してきていることは否めません。皆様如何でしょうか？

この命題はあまりにも大きく、解を見出すのが困難と思われませんが、「正解」なんて、「こうすべき」なんてないのではないかと諦め気味です。「やれることをやる」で新旧会員が分断せず、支部をつなげる、「持続・継続」させていくことが当面の正解事ではないでしょうか？

一方で「若い高齢者が増えている」という報道もあったとの記憶があります、期待したいです。「古きを訊ねて新しきを知る」（温故知新）の諺に乗ってやっていくことを、「同窓の集い」のご挨拶及び、前号にでも述べてきました。

皆様如何でしょうか、この方針でやりたいと今年も思っています、皆様の一層のご協力・支援をお願いする次第です。

前々号で「つながる、^{たがびと}多賀人（たがびと）」と題して、「一期一会」の同窓の縁を大切に、卒業後の「居場所」の一つとして是非、支部活動に参加していただきたいと発信しました。改めて、各位に「つないでいく」ことを訴求したいです、「帰属意識」に訴えたいです。そして、「一層の楽しめる」会になるようにと。

2年前の「アンケート分析・提言タスクフォース」の提言などの中での、特に支部「ホームページ」の課題や、「同窓の集い」の充実に絞って、幹事会及び一般会員の皆様の力を借りたいです。

当支部入会はもちろんのこと、幹事会・同好会（女子会あり）活動、及び事務局活動などを手伝っていただくとありがたいです。門戸は四方八方開いており、特に若い方たちの力を借りたいと、幹事会・ホームページなどで勧誘など呼びかけています。本件は、従前号で「お願い事」としてご挨拶にて発信し、地道に関連活動をしてきて、実りつつあります。

引続き、多賀工業会本部とは賛助会員へのアプローチによる会員増活動、及び近隣支部の動向もウオッチしながら、進めていくつもりであります。是非、皆様のご協力・支援の程宜しく申し上げます。

最後に、支部会員の皆様の益々の活躍と、ご健勝を祈念申し上げます。



環境省の動画から切り取り加工

2025 年 第 28 号 目次

挨拶	「不確実・不透明、正解がない時代」に“つなげる”とは!	佐藤 将彦	1
報告	第 28 号目次、表紙写真説明	事務局	2
	2025(令和 7)年度「同窓の集い」のご案内	事務局	3
	2025 年度東京支部第 45 回総会議案	事務局	4
	2024 年度東京支部会計(決算)報告	西脇 一樹	5
	2025 年度東京支部会計(予算)(案)	西脇 一樹	6
	2024 年度(第 44 回)「同窓の集い」報告	事務局	7
	2024 年度(第 44 回)「同窓の集い」出席者一覧	事務局	8
	2024 年度(第 44 回)「同窓の集い」写真集	事務局	9
	他支部総会参加報告	事務局	10
随筆	東京支部での出会い	山崎 慎一郎	11
	新たな学びを得る喜び	片方 喜信	12
	幹事二刀流	狩野 宏	13
	ロケット開発との関わり	大津 徳久	14
	大学卒業から現在までの軌跡	松嶋 克仁	15
同好会活動	囲碁部	田中 栄太郎	16
	ゴルフ部	小澤 喜宏	17
	写真部	小林 渡	18
	テニス部	村上 宗久	20
お知らせ	HP 編集室より	張 立業	21
	編集後記	小澤 喜宏	21
	2024 年度年会費納入者・ご寄付者名簿	西脇 一樹	22
協賛広告	(株)エルブズ、(有)いすゞ電機工業所、大協印刷(株)		裏表紙

表紙の写真：<雷鳥親子> 撮影地：北アルプス雲ノ平（2011 年 8 月）

森永 隆宏（昭 36 学機）

水晶岳登山のため折立登山口から入り薬師沢小屋に泊まり、翌日雲ノ平に登り木道を歩行中に数名の人だけがあり何事かと思いきや、木道から 5~6m の近距離に母子数羽の雷鳥が砂浴びをしていました。

1~2 羽は時々見かけますが、この群れには驚き夢中でシャッターを切りました。

真夏の思い出です。

2025（令和7）年度多賀工業会東京支部

第45回「同窓の集い」ご案内

1. 日 時 2025（令和7）年6月14日（土）12時00分から

2. 場 所 アルカディア市ヶ谷（右図参照）
東京都千代田区九段北 4-2-25
電話 03-3261-9921（代表）

電車でのアクセス方法

JR中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅から
徒歩3分

地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅
（A1-1）出口から徒歩2分

地下鉄 都営新宿線 市ヶ谷駅（A1-
1・A4）出口から徒歩2分



3. 会 費 8,000円（当日受付にて申し受けます）

なお、50歳未満の初参加の方（日立本部から補助ありの為）、また、女子の方は4,000円とします。

4. 次 第 第1部 第45回東京支部総会 12時00分～12時30分

第2部 動画「気候変動・気候危機・気候正義」

第3部 懇親会 13時00分～15時00分

（時間は都合により、変更になる場合があります）

5. 写真展 「同窓の集い」会場内に展示します。

[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上、事前に写真部連絡窓口（18ページ参照）の小林 渡までメールで連絡下さい。]

6. お願い (1) 出欠のご返事は5月25日（日）までに、同封の「ハガキ」にてお願いし
ます（事務の都合上、締切5月25日を厳守願います）。

(2) 総会での議案は、書面議決とさせて頂きたく、出欠と同じ「ハガキ」にて
賛否の記入をお願いします。

(3) 出席連絡後、変更で欠席となる場合は、6月7日（土）までに連絡をお願い
します。それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くこととなります。

(4) 出欠にかかわらず、お手数でも同封のゆうちょ銀行・郵便局「払込取扱票」
にて年会費2,000円を払い込みいただけるようお願い申し上げます。

7. お問い合わせ先

佐藤 将彦（昭43 学子）

TEL：090-8819-7305

E-Mail：mke-sato@mud.biglobe.ne.jp

2025年度 多賀工業会 第45回 東京支部 総会議案(書面議決)

下記議案を、支部会則第5章第10条により、書面議決(表決)を行なわせていただきます。

1号議案 2024年度事業報告並びに2024年会計(決算)報告

(1)2024年度事業報告は下記の通りです。

- ・1月11日、「同窓の集い」活性化で検討してきた新場所候補の「機械振興会館」断念、キャンセル
- ・1月13日、支部長名「年頭のご挨拶」年賀状送信(対象者165名)
- ・2月3日、会計監査完了、10日には事務局会議開催し、幹事会議事につき方向付けした
- ・2月24日、定例幹事会(幹事13名出席)開催
- ・3月9日、会報編集会議開催
- ・4月4日、「本部・賛助会員への入会勧誘」文書発送(東京支部対象者2名)
- ・4月13日、埼玉支部総会に参加(出席:小林渡幹事、写真展:写真部)
- ・4月28日、第27号会報作成・発送(作成:450部、うち対象者407部発送)
- ・5月18日、千葉県支部総会に参加(出席:小林一副支部長)
- ・6月8日、水戸勝田支部総会に参加(出席:佐藤支部長)
- ・6月15日、「同窓の集い」を開催(於 アルカディア市ヶ谷、テーマ:更なる楽しさ求めて)、48名参加(来賓6名、会員42名)、写真部の「写真展」併設、6月1日に事前フォローアップ会議を経て実施
- ・6月30日、本部理事会・総会に出席(小林一副会長、佐藤理事)
- ・7月5日、日立総合支部総会に参加(出席:飯塚副支部長)
- ・11月2日、こうがく祭に参加(写真出展:写真部、新形式のOB・OGと学生との懇談会:鈴木幹事、西脇幹事が出席)
- ・11月9日、事務局会議実施し、幹事会に向け準備
- ・11月23日 定例幹事会開催(幹事13名出席)
- ・各同好会の活動報告は、本会報28号の16~20ページに掲載
- ・その他活動につき、本会報5ページの会計(決算)報告書の摘要欄にも記載

(2)2024年度会計(決算)報告は、本会報5ページを参照してください。

なお、支部会則第6章第16条により、総会における詳細な報告は省略予定です。

2号議案 2025年度事業計画並びに2025年度会計(予算)(案)

(1)2025年度計画は下記の通りです。

- ・1月29日、山崎慎一郎氏(学原31、瑞宝小綬章を平成24年受章)を本部HP「活躍人」に推挙、掲載
- ・1月31日、(年頭に当たって)佐藤支部長挨拶をHPに初掲載
- ・2月8日、事前事務局会議を経て、22日に定例幹事会を実施(幹事14名)
- ・4月15日、第28号会報を作成・発行予定(450部作成)
- ・6月14日、「同窓の集い」(於 アルカディア市ヶ谷)を開催予定(参加人数目標:60名)
- ・6月28日、本部理事会開催予定、その他5支部総会に出席予定
- ・11月1日、こうがく祭に参加予定(写真展に写真部、OB・OGと学生との懇談会に支部有志)
- ・11月22日、定例幹事会開催予定
- ・各同好会の活動計画は、本会報28号の16~20ページに掲載
- ・その他活動につき、本会報6ページの会計(予算)(案)の摘要欄に記載

(2)2025年度会計(予算)(案)は、本会報6ページを参照してください。

なお、支部会則第6章第16条により、総会における詳細な報告は省略予定です。

2024年度多賀工業会東京支部会計（決算）報告

収入の部

2024年1月1日～2024年12月31日

（単位：円）

費 目	予 算	実績	予 算 差	摘 要
年会費	300,000	330,000	30,000	165口（100名） 前年比10口増
本部援助金	88,200	88,200	0	
同窓の集い会費	490,000	414,000	-76,000	目標参加者数（60人）下回る
広告料	45,000	60,000	15,000	3件（大協印刷・いすゞ電機工業所・エルプス：2年分）
寄付・利息	50,000	57,026	7,026	寄付（57,000円）利息（26円）
収入の部 計	973,200	949,226	-23,974	
繰越金	1,183,222	1,183,222	0	
合 計	2,156,422	2,132,448	-23,974	

支出の部

費 目	予 算	実績	予 算 差	摘 要
同窓の集い会費	450,000	423,483	-26,517	参加者実数 42名
総会場・懇親会費	430,000	401,112	-28,888	目標参加数比減に伴う支出減
その他諸費用	20,000	22,371	2,371	
会報費	286,705	299,945	13,240	A4サイズ24頁全カラー：450部 作成
印刷会社発注費	276,705	235,702	-41,003	印刷費（170,500円）、その他（65,202円）
編集雑費	10,000	64,243	54,243	発送費含む
会議費	35,000	39,805	4,805	
交通費	30,000	21,828	-8,172	
本部・支部総会参加交通費	10,000	11,068	1,068	埼玉・千葉県・水戸勝田・日立総合支部分
一般交通費	20,000	10,760	-9,240	
交流費	130,000	144,889	14,889	
本部・支部総会参加会費	50,000	40,000	-10,000	埼玉・千葉県・水戸勝田・日立総合支部に参列
同好会援助	60,000	50,000	-10,000	囲碁部、ゴルフ部、写真部、テニス部、山遊会
雑費	20,000	54,889	34,889	
振込み費	20,000	14,868	-5,132	
支出の部 計	951,705	944,818	-6,887	
繰越金	1,204,717	1,187,630	-17,087	三菱UFJ 356,363円 ゆうちょ銀 749,085円 現金 82,182円
合 計	2,156,422	2,132,448	-23,974	

以上の通り、報告致します。

（押印省略、以下同じ）

2025年 1月 25日

会計幹事 西脇 一樹（平21学都市） 印

監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

2025年 2月 8日

会計監事 青野 潔（昭41学化） 印

会計監事 池畑 隆（昭52学子） 印

2025年度多賀工業会東京支部会計予算（案）

収入の部

2025年1月1日～2025年12月31日

（単位：円）

費 目	予 算	前年度実績差	摘 要
年会費	300,000	-30,000	150口（前年度予算並み）
本部援助金	88,200	0	前年度同額
同窓の集い会費	500,000	86,000	60名
広告料	45,000	-15,000	3件
寄付・利息	50,000	-7,026	前年度予算並み
収入の部計	983,200	33,974	
繰越金	1,187,630	4,408	
合 計	2,170,830	38,382	

支出の部

費 目	予 算	前年度実績差	摘 要
同窓の集い会費	440,000	16,517	前年度予算並み
総会場・懇親会費	420,000	18,888	60名
その他諸費用	20,000	-2,371	
会報費	282,500	-17,445	前年度踏襲（A4サイズ・24頁以下・全カラー；450部 作成）
印刷会社発注費	272,500	36,798	印刷費（170,500円）、発送費その他（102,000円）
編集雑費	10,000	-54,243	
会議費	50,000	10,195	
交通費	30,000	8,172	
本部・支部総会参加交通費	10,000	-1,068	5支部総会に参加予定
一般交通費	20,000	9,240	
交流費	150,000	5,111	
本部・支部総会参加会費	50,000	10,000	5支部総会に参加予定
同好会援助	60,000	10,000	5同好会・女子会
雑費	40,000	-14,889	
振込み費	20,000	5,132	前年度実績並み
支出の部計	972,500	27,682	
繰越金	1,198,330	10,700	
合 計	2,170,830	38,382	

2024年度(第44回) 「同窓の集い」報告

東京支部「同窓の集い」を「更なる楽しさを求めて」のスローガンのもと、2024(令和6)年6月15日(土)にアルカディア市ヶ谷・鳳凰の間にて開催いたしました。杉田龍二多賀工業会会長はじめ各支部(千葉県、埼玉、水戸勝田、日立総合)代表の皆様をお迎えし、会員出席者は昨年より若干の減となりましたが48名の方にご参加いただき大変盛大な同窓の集いとなりました。今回の運営は事務局(飯塚特命チーム)及び幹事有志が努めました。多くの方に御出席いただき、また支部活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。



<受付風景>



<司会 飯塚副支部長>

◇第一部：2024年度(第44回)東京支部総会 (12:30~13:00)

第一部及び二部の司会は飯塚英一副支部長(昭46学電)が担当しました。始めに、この1年に亡くなられた会員に黙祷を捧げ、次に佐藤将彦支部長(昭43学子)からの挨拶、御来賓紹介及び来賓代表として杉田多賀工業会会長からご挨拶を頂きました。そして小澤副幹事長(昭53学子)から議案表決結果報告がありました。



<佐藤支部長挨拶>



<杉田会長ご挨拶>

◇第二部：「生成AI「ChatGPT」まわりの話」

鈴木 幹夫幹事(昭48院子)(13:00~13:20)

鈴木幹事より話題の生成AIに関してトレンドを捉えた大変興味深いお話をいただきました。



「偽吾輩は猫である」、「生成AIに俳句を作らせるとどうなる？」など、事例に沿った大変わかりやすい内容でした。最後に「Chat GPTは常識になります。楽しく勉強する人の友。」と締めくくられ、改めて最新技術が身近になることと、勉強し続けることの大切さを実感しました。大変示唆に富んだお話でした。

◇第三部：懇親会(13:30~15:30)

司会は昨年に引き続き太田悦子幹事(昭60学電)が担当しました。小林一副支部長(昭38学機)の開会挨拶及び乾杯で懇親会が始まりました。今年は昨年のアンケート結果から懇親会の時間を30分長くとり、ゆっくりと食事とお酒を楽しみながら旧交を深めることができました。また当日嬉しいニュースとして山崎慎一郎(昭31学原)氏が瑞宝小綬章(教育研究功勞)を受賞された旨のご報告がありました。



<司会 太田幹事>



<小林様乾杯挨拶>

宴もたけなわの中、恒例の「校歌・寮歌斉唱」となりましたが、皆さんの練習の成果か、今年は息の合った素晴らしい歌でありました。その後、小宅仁 顧問(昭36学電)の中締めにて盛会のうちにお開きとなりました。



<山崎慎一郎氏挨拶>



<小宅様中締め挨拶>

◇写真展：(12:30~15:30)

写真部メンバーが日ごろ撮影した素晴らしい作品の展示を行いました。それぞれが写真の裏側に込められた思いが伝わってくるような作品ばかりで思わず見入ってしまいました。

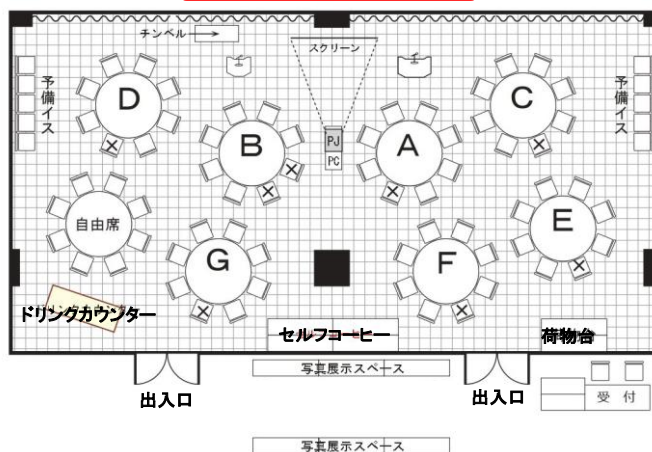


2024(令和6)年度 多賀工業会東京支部 第44回「同窓の集い」 出席者一覧(卒年順・敬称略)

(来賓)

No.	氏名	卒年/学科	備考	テーブル
1	杉田 龍二	S49 学子	多賀工業会 会長	A
2	富田 宣吉	S37 学化	千葉県支部 支部長	A
3	高橋 伸二	S41 学機	埼玉支部 支部長	A
4	坂場 英太	S55 院精	水戸勝田支部 幹事長	A
5	横塚 知典	S53 学金	仙台支部 幹事長	A
6	武士 洋一	S40 学金	日立綜合支部 支部長	A

会場: 4階「鳳凰」



(東京支部)

No.	氏名	卒年/学科	備考	テーブル
1	山崎 慎一郎	S31 学原		B
2	森永 隆宏	S36 学機		B
3	小宅 仁	S36 学電	顧問	B
4	上田 正雄	S37 学電		B
5	小林 一	S38 学機	副支部長	D
6	駒場 方耀	S38 学機		C
7	大竹 充	S38 学電		C
8	小林 渡	S38 学電	幹事	C
9	寺内 賢一	S38 学電		C
10	大塚 進	S38 学化		B
11	白石 道彦	S38 学化		B
12	高木 二郎	S38 学化		C
13	磯部 亮	S38 学精	幹事	C
14	矢嶋 國男	S38 学精		C
15	大泉 雅靖	S40 学精		E
16	田中 栄太郎	S40 学化	幹事	D
17	田山 雄史	S41 学機		D
18	青野 潔	S41 学化	幹事	D
19	藤沼 隆夫	S43 学機		D
20	佐藤 将彦	S43 学子	支部長 兼幹事長	A
21	小滝 麟太郎	S45 学電		D
22	宇塚 光男	S45 学電		D

No.	氏名	卒年/学科	備考	テーブル
23	飯塚 英一	S46 学電	幹事 副支部長	E
24	井村 豊	S46 学子		E
25	鈴木 幹夫	S48 院子	幹事	E
26	村上 宗久	S48 学機	幹事	E
27	武藤 和望	S52 院金	幹事	E
28	池端 隆	S52 学子	幹事	F
29	小澤 喜宏	S53 学子	幹事 副幹事長	F
30	加藤 邦治	S53 学子		F
31	西部 俊憲	S53 学情		F
32	川村 澄	S54 院子	幹事	F
33	中根 茂樹	S54 学機		F
34	丸島 國義	S55 院電	幹事	E
35	若松 洋治	S57 学金		G
36	狩野 宏	S59 学情		G
37	太田 悦子	S60 学電	幹事	G
38	平尾 直人	S62 院機		G
39	大津 徳久	S62 学子		F
40	大西 孝明	S62 学情	幹事	G
41	西脇 一樹	H21 学都	幹事	G
42	張 立業	H24 院情	幹事	G

○印は今回初参加、又は初参加扱いの方です

2024年度(第44回)「同窓の集い」写真集



<御来賓の皆さん>



<Eテーブルの皆さん>



<Bテーブルの皆さん>



<Fテーブルの皆さん>



<Cテーブルの皆さん>



<Gテーブルの皆さん>



<Dテーブルの皆さん>



<校歌斉唱の皆さん>

他支部総会参加報告

1. 埼玉支部総会

(ア)日時・場所：2024年(令和6年)4月13日(土)

戸田市文化会館 (JR戸田駅)

(イ)参加者：来賓3名(本部 杉田会長、千葉県支部 高崎千葉県代表、東京支部 小林渡幹事)

+会員15名、講師 外川澄輝氏(埼玉県県民活動総合センター・市民講師)

(ウ)講演等：外川氏より、「戦国時代の武将の処世術」と題し、戦国時代を制した武将、尾張の三傑、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一への処世術について講演がありました。

(エ)感想など：埼玉支部は、会員数、同好会参加者数減少なるも積極的に活動中。当支部との(写真部、ゴルフ部、囲碁部)連携、合同活動に感謝しています。

2. 千葉県支部総会

(ア)日時・場所：2024年(令和6年)5月18日(土)

船橋市中央公民館

(イ)参加者：来賓3名(本部 杉田会長、埼玉支部 岡部副支部長、東京支部 小林一顧問・副支部長) + 支部会員 富田支部長他18名

(ウ)感想など：ここ数年コロナの影響もありましたが、活動は停滞していたようですが、本年、やっと新幹事を4人発掘して幹事の役割分担を刷新したとの事。支部の会報は300部を発送。

3. 水戸勝田支部第48回「同窓の集い」

(ア)日時・場所：2024年(令和6年)6月8日(土)

水戸市水戸三の丸ホテル

(イ)参加者：来賓4名(本部 杉田会長、鹿行支部 川浪支部長、いわき支部 江井副支部長、東京支部 佐藤支部長) + 支部会員26名、講演講師 田中光太郎茨大教授

(ウ)講演等：田中氏より、「カーボンリサイクルの実現に向けて～茨大カーボンリサイクルエネルギー研究センターの取り組み～」について講演があった。

(エ)感想など：東京支部の「同窓の集い」と同じ名称((注)5年前、当時の加藤支部長が名称導入の由)で兄弟支部の親しみを感じるとおっしゃっていました。会員数、年会費納入者はほぼ、東京と実質で同数規模。年度4月会計開始、会報も4月発行、総会開催が6月と小回りを利かした、立派な態勢活動ぶり。

同好会活動少(「元気会」と「真弓会ゴルフ」の2部のみ)、及び参加者数が減少中との由。当支部とは5年前まで「5支部懇親ゴルフ」しかなく、これも途絶えているので、今後、よりを戻したいと思っている。鹿行支部との合併がスムーズに行くことを期待し、今後の参考にその苦心談等聞きたいものです。

4. 日立総合支部第30回定期総会

(ア)日時・場所：2024年(令和6年)7月5日(金)

日立市ホテル天地閣

(イ)参加者：来賓5名(乾工学部長、本部 杉田会長、いわき支部 栗田幹事長、水戸勝田支部 栗田財務担当、東京支部 飯塚英一副支部長) + 会員47名と前年より減少となるが、初めてとなる現役学生10名の参加で総数62名の出席。

(ウ)講演等：工学部部長 乾 正知氏による『工学部の近況』と題し、講話を戴いた。

(エ)感想など：日立総合支部は日立製作所各事業所及び企業毎に幹事を設けて同窓会結束を強化しており、今回の現役学生の参加は地元ならではの画期的な趣向と云えます。

東京支部での出会い

山崎 慎一郎(昭31学原)

1. 東京支部での活動と出会い



平成9年幹事になり、当時の支部活動は次のとおりでした。その際、東京支部で出会った皆様がたです。(以下敬称略)

- ・ 幹事会は、支部長 専精 19 渡邊益男、幹事長 学電 28 近江義勝、会計担当 学機 32 溝口知昭、学原 30 鈴木日出夫、学 30 金 三本木武、山崎慎一郎で、渡邊建築事務所の会議室で開催、終了後は西武デパートのレストランで懇親会があった
- ・ 支部長 専精 19 渡邊益男、学 28 電 近江義勝、学 30 金 三本木武、学機 36 上月秀俊、学機 38 小林一、学子 43 佐藤将彦
- ・ 事務局 学機 38 駒場方輝
- ・ 会報編纂 学電 38 兼子八郎、委員に女性で、学機 38 大原 節
- ・ 写真同好会 専通 26 菊池玲二、学電 28 玉川信二、学原 30 鈴木日出夫、学電 38 小林 渡(国際写真展入賞)、学機 39 三好成實、学機 41 高橋伸二、学精 45 黒澤郁雄、山崎
- ・ 山遊会 学電 32 田崎耕八、学電 36 小宅 仁、学化 41 青野 潔、学電 42 菅谷禎男
- ・ 囲碁同好会 専通 22 幸道貞一、学機 28 小白井和典、学電 32 山下正明、学化 38 白石道彦、学化 40 田中栄太郎、学電 42 山田恵規、
- ・ 女子会 設立 学子 43 小澤 茂、学電 60 大田悦子、学化 62 鈴木葉子
- ・ ダンス同好会 東大名誉教授 専金 22 明石和夫、学原 31 瀬在城雄
- ・ フォーラム 学精 40 大泉雅靖、学電 46 飯塚英一
- ・ ホームページの開設 学原 32 矢野睦男
- ・ 総会会場 東条会館(東条インペリアルパレス)、学機 38 小林 一支部長からアルカディア市ヶ谷
(赤字は同好会の現部長を示す)

2. 南米の旅

長男がチリサンチアゴの日本人学校に3年間赴任していたので南米旅行をした。

日本からチリまでの往復航空券のマイレージでトルコ、ギリシャの旅ができた。

3. クルーズ船の旅

クルーズ船 キーンエリザベス号、MSC号で、日本、東南アジア諸国、地中海、ヨーロッパ諸国巡りをした。クルーズ船にはショートステイとして乗船した人、酸素ボンベを持ち込んだ人もいた。

船内では毎日、講習会、教養講座、演芸会が開催さ



キーンエリザベス号船内



南米の地図

れているので、寄港地でのツアーなどに出掛けなくても良いものでした。

4. 教育 教養

- ・ 「人生僅か50年」、「欲しがりません、勝つ迄は」、「不自由を常と思えば不足なし」との教育を受けた我が人生も、91歳となった
- ・ 教育 今日に行く所がある
- ・ 教養 今日用がある
- ・ 現在、スマホ教室、写真同好会、囲碁同好会、埼玉支部囲碁会に出掛けている

著者プロフィール

- ・ 昭和31年原動工学科卒
- ・ 昭和31年東京大学工学部機械工学科西脇研究室
- ・ 昭和34年文部教官 東京大学助手
- ・ 昭和38年東海大学工学部機械工学科専任講師、助教授
- ・ 昭和42年東京高専助教授、教授
- ・ 昭和45年文部省在外研究員としてカナダアルバータ大学客員教授、アメリカネバダ大学特別名誉研究員
- ・ 平成6年東京高専名誉教授
- ・ 平成24年瑞宝小授章

新たな学びを得る喜び

片方 喜信 (昭 51 院機)

1. はじめに



このたび、東京支部の会報誌に寄せてほしいと依頼がありました。その理由をたずねましたところ、昨年、全国紙に「鉄道事故を防ぐ。70代で博士号」

(2024年9月13日読売新聞朝刊) という、筑波大学大学院

で博士学位取得したことの記事を目にした方からの依頼であることがわかりました。「さて、何を記述すれば、、、」と思案しましたが、博士学位取得に際し、その前後で感じたことをストレートに述べたいと思います。

2. 「その年齢で、よく取得したね!？」

周りの多くの方から言われました。新聞の見出しもその思いの表れかと思えます。取得した2024年3月博士課程修了時点で私は72歳でした。ただ、年齢のことをもちろん意識しないことはなかったんですが、むしろ、“JR東日本で、鉄道の安全システムの構築、実務に携わってきた内容をまとめる”という意識の方が勝ったということでしょうか。周囲の方から言われて、“そうか、俺はそういう年齢なんだな”と、改めて気づかせられたというのが正直な気持ちでした。

3. 「鉄道会社に就職して何をするのか？」

私は、茨城大学での4年次以降、修士課程までの間、流体工学の研究室で学びました。修士課程を修了し当時の国鉄に入社するにあたり、「鉄道会社に就職して、何をするのか？」と、研究室のスタッフの方からは、やや不思議そうに言われたことが思い出されます。確かに、大学での研究の内容と鉄道とが、どこでどう結びつくのか。その当時は考えたこともありませんでした。ただ、今、学生時代を振り返れば、ソフトテニス部での身体能力の鍛錬、そして仲間との協調の大切さ。さらに研究室での昼夜を問わない実験（流体の可視化を実現することが研究テーマの重要な一つでしたので、撮影環境としては外が暗くなる夜間に集中せざるを得ない状況でした。）を通じた試行錯誤の日々。そして、

やっとな撮れた Jet 噴流下のリング状のキャビテーションの一枚を手にした時の感動。これらの体験は、知らず知らずに身につけていたのだと、今にして思います。流体工学という学問が、実務である鉄道運行の安全システムに直結するというのではなく、むしろ学生時代に身につけた、考え方とか、気持ちの持ち方であるとか、達成感であるとか。このような下地があったからこそ、博士後期課程に挑戦という気持ちにさせたのだと、自問自答しています。

4. 新たな学びを得る喜び

学生時代は、共通科目、選択科目、卒業までに必要な単位、などあらかじめ他人が敷いたレールを走っているという感覚が強く、自ら学ぶという意識は薄かったように思います。

一方で、鉄道会社の実務作業は、直面する建前と本音、論理だけでは解決のできない対応。そして悲惨な事故との遭遇。現実の多様な実務作業そのものでした。このような中で、なんとか悲惨な事故は繰り返したくない。それを未然に捉え、対応できないのか。そのためのリスク管理、安全マネジメントはどうあるべきかを問う日々の中、新たな疑問の出現、現在の安全システムの歴史的な経緯への関心の高まり。これらが筑波大学大学院で学んでみようという意識に繋がったものと思っています。この意識は、かつて学生時代に抱いたものとは、異質なものでした。

実務を裏付ける論理の探求を通じて得た新たな学び、発見は、たとえ小さなものであっても自身の腹落ち感に響き、喜びになりました。

5. おわりに

このような私自身の実経験を、次代を担う後輩に伝えていくことが、年齢を重ねた者の役割と肝に銘じて、これからの時間を前向きに過ごしていきたいものと、心しているところです。

著者プロフィール

- ・1976年：日本国有鉄道 入社
- ・1987年：東日本旅客鉄道株式会社 入社
安全企画部在籍（現在）
- ・2024年：筑波大学大学院 博士（社会工学）
- ・趣味：テニス、カメラ、篆刻、旅行

幹事二刀流

狩野 宏 (昭 59 学情)

1. はじめに



はじめまして。2024 年 11 月から多賀工業会東京支部の幹事を担っております。狩野宏 (かのひろし) です。大学卒業後、社会人になって以降、自身に東京支部の会員資格はずっとあったようです。

しかし、入会の勧誘等、東京支部からのアプローチは、これまで特になかったため、自身に会員資格があることを知らずにおりました。2024 年 06 月「同窓の集い」への参加を機に、東京支部の会員になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 同窓会との関わり

同窓会との関わりとしては、2023 年 09 月から多賀工業会千葉県支部の幹事を担い、現在に至っております。このたび、東京支部の幹事を担ったことに伴い、東京支部・千葉県支部の幹事二刀流で、役割遂行に臨むことになりました。

3. 同窓会の勧め

同窓会の設立趣旨の一つに「会員相互の親睦」があります。幹事二刀流になったことで、幹事だけに限定しても、これまでの3倍程の新たな出会い、つながりの場ができております。複数支部への入会資格がある方には、ぜひとも複数支部への入会をお勧めします。

4. 同窓会に期待

同窓会は、人それぞれ多種多様なライフステージにおける出会いやつながりの場の選択肢の一つといえます。また、同窓会への関心の有無や活動に対する賛否は、人それぞれにあるかもしれません。

しかし、少なくとも同窓会への無関心から半歩でも踏み出すことにより、仮に長年の間、クラス会が開催されていなければ、久々にクラス会を開催するきっかけになるかもしれません。

私は、同窓会の活動をとおして、工学部以外の方との交流の場に広がることも期待しております。

5. 同窓会へのご支援

同窓会の健全な運営のためには、会員のみなさまからの会費納入をはじめとしたご支援が欠かせません。

私は、同窓会の活性化に向けて、楽しみながら貢献できればいいと考えております。会員のみなさまからのご支援及びご協力をよろしくお願い申し上げます。

6. おわりに

現在、私は、勉強会（人生塾）に通っております。人生塾では、自分の在り方を自問自答する等、哲学と行動を探究しております。

例えば、次のような感じですが、人生塾における自己診断チャートによりますと…

■私の特徴的な回路（暗転の回路という）は、「批判→正論→対立/萎縮」となります。

ものごとの不足や欠点にまず目を向け（批判）、それを正そうと正論の発信をする結果、相手と対立してしまう若しくは相手を萎縮させてしまう。

■私の育くむべき回路（光転の回路という）は、「共感→愛語」となります。

相手のすばらしいところ、長所に目を向け（共感）、是々非々は貫きながら、人としての友情を大切に言葉をかけて（友情）。

以上、ほんのさわりですが、本誌面で、ご紹介させていただきました。興味がある方は、ぜひお声がけください。

7. おまけ

大学時代の思い出(?)を写真にしてみました。



左はクラスで製作したトレーナー、中は卒業記念品のマグカップ、右は生協で特売していた出版物です。

著者プロフィール

- ・昭和 59 年：山崎製パン(株)入社
- ・平成 04 年：(株)オーグス総研入社
- ・令和 04 年以降：定年後、再雇用嘱託で、PMO (プロジェクトマネジメントオフィス) に従事

ロケット開発との関わり

大津 徳久 (昭 62 学子)

1. はじめに



大学卒業後、岩崎通信機(株)に入社し、昨年9月に退職するまで約30年間、ロケット関連の仕事に従事しました。主にロケット開発途上の試験で使用する設備と、打ち上げに使用する設備の担当でした。当初は開発部門に所属し、その後品質保証部門に異動して、H2A/2B、H3 ロケットなど5機種に関わることができました。ここではH3 ロケットについて紹介します。

2. 田代試験場ーロケットの試作

ロケット開発では、宇宙へ飛ぶ機体を造る前に試作品を造って試験を繰り返します。開発作業終盤には、エンジンと燃料タンクを鉄塔に組み立ててエンジン燃焼試験を行います。

試験を行う場所は秋田県大館市にある田代試験場です。白神山地の一角、田代岳の山麓に位置するため、車がすれ違えないほどの狭い林道を通り抜けて現場に通いました。

田代試験場で燃焼試験のための電力供給装置と試験データの測定装置を据え付けたのは、2018年の真冬から春の時期でした。積雪が1mを超え、日中でも氷点下となるような厳しい環境で、防寒対策をして作業を行いました。鉄塔に装置を設置する際は、雪が吹き付けるため、周りをビニールシートで囲い、ストーブを焚いて作業しました。



田代試験場(中央奥の建物が燃焼試験棟) (c) JAXA

3. 種子島宇宙センターーロケット打ち上げ

ロケットの打ち上げは、種子島宇宙センターで行わ

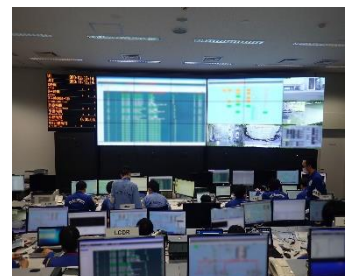
れます。打ち上げ作業は、ロケットを発射台に立て、発射位置まで運んで燃料を充填し、ロケットが正常か点検し、準備ができればエンジンに点火して発射することです。

種子島宇宙センターでは、新設されたロケットの発射台と、新築の竹崎発射管制棟に設備を据え付けました。

これらの装置は、ロケット打ち上げの成否を左右する重要なものです。特に、発射台に設置する電力供給装置と燃料充填制御装置がダウンすると、打ち上げは中止になります。そのため、ユニットの二重化など信頼性を高める工夫をしました。一方、装置を据え付ける場所は省スペース化されたため、狭い作業場所での装置の据え付け、動作確認には苦労しました。



H3 発射台(工事中)



竹崎発射管制棟 (c) JAXA

竹崎発射管制棟では、3面の表示盤を組み立て、オペレータが着席する制御卓の据え付けと装置の組込を実施しました。

竹崎発射管制棟の装置は他社が設計製造したものでしたが、装置の簡素化と民生品の使用を進めており、H3 ロケットの打ち上げ費用のコストダウンを図っていることを実感できました。

4. おわりに

ロケット開発というと、ロケットが宇宙へ飛び立つ勇壮な姿を思い浮かべるかもしれませんが、その陰には地味な作業の積み重ねがあります。私が担当したのも、まさにそうした地味な作業でした。地味な作業の積み重ねがあつてこそ、気象衛星などの人工衛星を宇宙に届けることができます。数々のロケット打ち上げに貢献し、社会の役に立てたことは良い思い出です。

著者プロフィール

- ・1987年：岩崎通信機(株)入社
- ・2024年：岩崎通信機(株)退職
- ・趣味：読書、映画鑑賞、博物館巡り

大学卒業から現在までの軌跡

松嶋 克仁(平21学知シス)

1. はじめに



大学院を経てソフトウェアエンジニアとしてキャリアを始めてから、早14年が経過しました。Webサイトやスマホアプリ開発を皮切りに、海外スタートアップでモバイルアプリ向けのクラウドサービスの開発に挑戦してきました。その後はフリーランスとして多様な案件を手がけ、個人で企画したサービスが転機となり、現在は予防医療とエンターテインメントを融合したサービスを展開するスタートアップに創業メンバーとして参画しています。

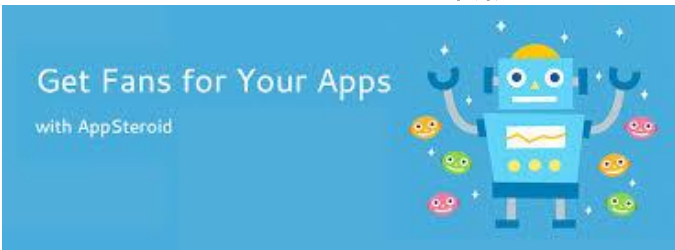
本稿では簡単な自己紹介から、海外での活動、そしていま情熱を注いでいるサービスの背景や魅力をご紹介します。

本稿では簡単な自己紹介から、海外での活動、そしていま情熱を注いでいるサービスの背景や魅力をご紹介します。

2. 自己紹介

東京工業高等専門学校から茨城大学に編入、さらに東京工業大学大学院へと進む中で、人工知能や機械学習を研究テーマとし勉学に励みました。その後、新卒で楽天に入社し、ウェブやモバイルアプリ開発を通してサービスを運営したり、いくつかの賞や特許を取得するなど、多くの経験をさせてもらいました。その後、海外への憧れとモバイルアプリ開発への関心が高まり、シリコンバレーのスタートアップに転職しました。日本に戻ってからはフリーランスとしてウェアラブルデバイス関連のプロジェクトに長く携わり、アプリ開発や技術検証で経験を積み重ねました。

3. シリコンバレーのスタートアップに転職



シリコンバレーにあるFresvii Inc.に転職後は、mBaaSという、モバイルアプリ向けのクラウドサービス「AppSteroid」のiPhone用SDK開発を担当していました。SDKはアプリ開発を大幅に効率化する重要なプロダクトでしたが、2014年頃からmBaaS業界は買収や撤退が相次ぐ激動期に入り、私たちのサービスも最終的に終了へと至りました。

この苦い経験から学んだのは、「エンジニアは開発だけに専念すればいい」という考えに囚われず、どのような価値を誰に届けたいのかを常に問い続ける必要があるということです。サービスがうまくいかない原因を振り返り、事業全体を理解しながら主体的に動く大切さを学びました。スタートアップで働く魅力は開発にとどまらず、あらゆる面でチャレンジができるこ

となのだと実感しています。

4. スタートアップの創業メンバーとして活動



現在はフリーランスでの活動を続けながら、株式会社100plusの創業メンバーとして、予防医療とエンターテインメントを融合したサービスを立ち上げています。「サノ国」というサウナ特化型アプリと、サウナ内の高温環境でも心拍数を計測できるスマートウォッチ「サウオッチ」を開発し、1秒単位で得られる膨大な生体データを活用して、利用者が楽しみながら健康になれる仕組みを提供しています。

2024年の1年間で、26万件を超えるサウナ中の心拍データを収集できました。サウナに限定するとニッチに感じられるかもしれませんが、超高温と超低温、さらに休憩状態という三つの環境下でのデータを一括して取得・分析する取り組みは世界でも珍しい事例だと思います。この成果を基に、自律神経の活動を推定し、サウナの効能を予防医療の観点で検証・発表することを目指しています。

今後は温浴全般への展開だけでなく、ブロックチェーン技術を使い、利用者自身が生体データを管理できるプラットフォームの開発も視野に入れています。また、生体情報を学習した大規模言語モデルと連携させることで、自分の“デジタルツイン”が健康アドバイスを返してくれるようなサービス創出を検討中です。最新技術を実サービスへ落とし込む挑戦は、エンジニアとしての探究心をくすぐり続けています。

5. おわりに

これまでの歩みを通じ、技術力だけでなく、価値を生み出す視点や人との出会いの大切さを強く実感してきました。母校で得た基礎と探究心が私の土台であり、新しいテクノロジーやサービスを通じてより良い社会を実現していきたいという想いはますます強まっています。今後も挑戦を続け、予防医療分野の発展に貢献しながら、エンジニアとしての喜びを追求していく所存です。

著者プロフィール

- ・平成19年：東京高専 機械工学科 卒業
- ・平成21年：茨城大学 知能システム工学科 卒業
- ・平成23年：東工大 知システム科学専攻 修了
- ・平成23年：楽天株式会社 入社
- ・平成26年：Fresvii Inc. 入社
- ・平成29年：フリーランスとして活動

囲碁部

部長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、昭和 31 年卒の先輩から 46 年卒の方々までの 19 名で、棋力は八段から 5 級までいろいろです。

大会は年に 4 回で、2 月・5 月・11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜日に日本棋院市ヶ谷会場（市ヶ谷駅から徒歩 2 分）で行います。対局は 11 時で 17 時まで各自 5 局行います。

本大会には東京都をはじめ埼玉県、千葉県および神奈川県各地から遠路はるばる参加される方々がおられます。また埼玉支部囲碁部との交流もあり、囲碁を通じての親睦を深めています。

囲碁に関心のある方は卒業年代にかかわらず多数の参加者を歓迎します。大会では、初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用しているため段級位にかかわらず勝つチャンスがあるような運営システムでやっています。成績次第で段級位が昇降します。大会結果は準スイス方式で判定され、成績優秀者は表彰されます。

連絡窓口

田中 栄太郎 (Tel: 0466-82-4988)

(Email: fetanaka@amail.plala.or.jp)

山田 恵規 (Tel: 042-646-8285)

西暦 2024 年度の大会入賞者は以下のとおりです。

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	参加者
88	2024 02-10	酒井六段 (金 44)	真下八段 (機 36)	粕谷三段 (電 42)	田中四段 (化 40)	白石二段 (化 38)	14 名
89	2024 05-11	上田四段 (電 37)	粕谷三段 (電 42)	白石二段 (化 38)	真下八段 (機 36)	—	13 名
90	2024 08-03	田中四段 (化 40)	酒井六段 (金 44)	白石二段 (化 38)	—	—	12 名
91	2024 11-09	真下八段 (機 36)	益子五段 (機 38)	藤沼五段 (機 43)	—	—	12 名



対局風景 (第 91 回囲碁大会)

ゴルフ部

副部長 小澤喜宏(昭53 学子)

令和6年度活動報告と令和7年度活動計画は次の通りです。部名は通称「多賀いちよう会」と銘打ってやってきており、支部HPにも開催案内、報告など随時記載しています。

(本文中、氏名は敬称略、卒年の「昭」略)

1. 令和6年度第52回春季3支部合同コンペ

(幹事は埼玉支部)

- ・開催日：2024年3月29日(金)
- ・場所：坂東GC(茨城県)



- ・参加者：13名(内、埼玉支部7名、千葉県支部3名、東京支部3名)
東京支部から富田瑞穂(41学機)、佐藤将彦(43学子)、小澤喜宏(53学子)が参加。
- ・優勝：小澤(東京)、2位：富田(東京)、3位：大武氏(埼玉)でした。春の雨嵐の中の強行となりましたが、東京支部が1位、2位となり、佐藤は10位(飛び賞)でした。
- ・競技方法：新ペリア方式

2. 令和6年度第53回秋季3支部合同コンペ

(幹事は東京支部)

- ・開催日：令和6年9月24日(火)
- ・場所：紫CCあやめコース(千葉県)



- ・参加者：9名(内、埼玉支部2名、千葉県支

部4名、東京支部3名)

東京支部から、青野潔(41学化)、佐藤将彦(43学子)、小澤喜宏(53学子)が参加

・優勝：青野、2位：小澤、3位：細井氏(千葉県)、佐藤は6位でした。

なお、千葉県支部のゲストで出場された工藤氏は満91歳ですが、その年齢には思えないプレーぶりで参加者一同驚愕しました。

・競技方法：新ペリア方式。但し、今回から、80歳以上はフロントティ打を可としました。

3. 令和6年度第54回年末3支部合同コンペ

(幹事は千葉県支部)

- ・開催日：令和6年12月6日(金)
- ・場所：取手桜ヶ丘GC(茨城県)



- ・参加者：13名(内、埼玉支部4名、千葉県支部5名、東京支部4名)
東京支部から、初参加の鈴木幹夫(48院子)、青野潔(41学化)、佐藤将彦(43学子)、小澤喜宏(53学子)が参加
- ・優勝：小澤(東京)、2位：青野(東京)、3位：鈴木(東京)とワンツースリー、佐藤は9位でした。朝は冷え込みましたが12月だというのに最高気温17℃快晴と絶好のゴルフ日和でした。
- ・競技方法：新ペリア方式(80歳以上フロント)

4. 令和7年度計画

(1) 第55回春の3支部合同コンペ

- ・開催日：3月28日(金)(幹事は埼玉支部)
- ・場所：坂東CC

(2) 第56回秋の3支部合同コンペ

- ・開催日：9/下~10/上(幹事は東京支部)
- ・場所：紫カントリークラブあやめコース

(3) 第57回年末3支部合同コンペ

- ・開催日：11月中下旬(幹事は千葉県支部)
- ・場所：未定

入会受付中、コンペのスポット参加大歓迎!

連絡窓口 部長：佐藤将彦 090-8819-7305

副部長：小澤喜宏 090-1999-9301

写真部

部長 小林 渡 (昭 38 学電)

多賀いちよう写真部は秋の撮影会実施、東京支部写真展、埼玉支部写真展、こうがく祭「写真・絵画展」に出展しました。また外部活動は主として神奈川、埼玉の全日写連等の各種コンテスト、写真展に相応の実績を上げております。

以下報告します。

1. 秋の撮影会

9月26日(土)「しながわ 宿場まつり おいらん道中」と題した撮影会を実施しました。

江戸時代、品川宿は東海道往来の宿として、江戸庶民の手軽に行ける観光地として栄えました。北の吉原に対して南の吉原と呼ばれるくらい、きれいどころが揃っていて、そういう女性方と遊べる貸座敷が軒を連ねておりました。

東海道五十三次、日本橋から数えて一番目の宿場町「品川宿」江戸時代から残る2kmの道で開催される区内最大級のイベントです。花魁とは、高級で位の高い遊女のことで、花魁道中は、美しく着飾った花魁が引茶屋まで馴染みの客を迎えに行くことです。



<花魁道中>

2. こうがく祭

11月5日(土)実施しました。多賀工業会本部「写真・絵画展」を開催しました。東京支部写真部9名、18点出展、抜粋して次ページに6点掲載します。

3. 会員の主な活動状況

- ・第8回(2024)フォトコンテスト神奈川写真展 神奈川部門入選 小林 渡
- ・第35回人と海のフォトコンテスト 2024 マリナーズ・アイ展 入選 小林 渡
- ・第23回全日本モノクロ写真展 入選 小林 渡
- ・第57回(2024)横濱鶴寫会写真展(全日写連旭支部)写真展 出展 小林 渡
- ・第41回埼玉県写真サロン 入選 田山雄史、高橋 伸二
- ・第38回「埼玉の自然」フォトコンテスト 入選 田山雄史
- ・第72回埼玉県美術展会(写真の部)入選 田山雄史 高橋伸二
- ・第21回全日写連大宮支部展 出展 田山雄史、高橋伸二
- ・第22回さいたま市美術展(写真の部)入選 田山雄史、高橋伸二
- ・第38回「埼玉の自然」フォトコンテスト 入選 田山雄史
- ・第28回花物語展 優秀賞 田山雄史 出展 高橋伸二

4. 入会の案内 連絡窓口;

小林 渡

E-mail : koba-wt@nifty.com

黒澤 郁雄 (昭 45 学精)

E-mail : 8my66j@bma.biglobe.ne.jp

以上



<大物ゲット山崎 慎一郎 (昭 31 学原) >



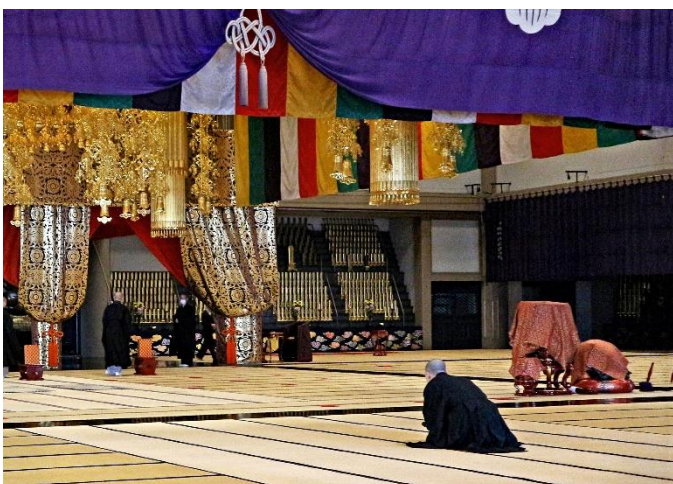
<ミティラー少女 小林 渡 (昭 38 学電) >



<チングルマの種 森永隆宏 (昭 36 学機) >



<材木座海岸の日差し 黒澤 郁雄 (昭 45 学精) >



<寒行托鉢 田中栄太郎 (昭 40 学化) >



<輝けるモルゲンロード 平尾直人 (昭 62 院機) >

テニス部

部長 村上 宗久 (昭 48 学機)

現在、テニス部には他の学部卒業者や他の支部の方を含め昭和 36 年卒の方から昭和 56 年卒の方まで 15 名の方が登録されています。

テニス部としては、年に 2 回は春と秋に練習会及び懇親会を実施しています。

不定期ですが水戸で行われる行事に参加するときもあります。

●2024 年度の活動報告

1. 春季練習会及び懇親会 (2024 年 5 月 21 日)

(練習会：小金井公園、懇親会：吉祥寺)

東京都下にある小金井公園のテニスコートにて練習会を実施。

練習会には 6 名が参加し、親睦のダブルス試合を行いました。

練習会后、吉祥寺へ移動し懇親会を行い、8 名が参加しました。



練習会参加者



懇親会参加者

2. 秋季練習会及び懇親会 (2024 年 11 月 19 日)

(練習会：小金井公園、懇親会：吉祥寺)

東京都下にある小金井公園のテニスコートにて練習会を実施。

練習会には 6 名が参加し、親睦のダブルス試合を行いました。

練習会后、吉祥寺へ移動し懇親会を行い、7 名が参加しました。



練習会参加者



懇親会参加者

3. 茨大テニス部 OBOG 会との連携 (懇親会)

(2024 年 11 月 27 日)

水戸地区で開催された 70 歳代超の茨城大硬式庭球部 OBOG の懇親会に東京支部テニス部からも硬式庭球部 OB の下記 3 名が参加し状況共有や今後の運営についての連携を深めました。

森永隆宏 (S36 学機)、村上宗久 (S48 学機)、松本博行 (S56 学情報)



懇親会集合写真

●2025 年度の活動計画

2025 年度は下記の開催を予定しています。

1. 2025 年 5 月下旬：春季練習会

(小金井公園)

2. 2025 年 11 月下旬：秋季練習会

(小金井公園)

●入会受付中！ 練習会参加大歓迎します。

連絡窓口

部長：村上宗久 m-murakami@hi-ho.ne.jp

HP 編集室より

HP 編集室長 張 立業(平 24 院情)

昨年の同窓会会報において、私は同窓会ホームページ編集室長として寄稿させていただきました。この一年間、多くの方々からのご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も引き続き、同窓会のホームページをより充実させ、皆様にとって有益で魅力的な情報を提供してまいります。同窓生の活動をより広く伝え、交流の機会を増やせるよう、より使いやすく魅力的なウェブサイトを目指していきます。

また、ホームページ編集室には新たに狩野様が副編集室長として加わり、チームとしての体制が強化され、これは大変喜ばしいことです。さらに、2025年に向けて新たなメンバーを募集し、より多くの方がホームページの発信に関わることができる環境を整えていきたいと考えています。東京支部の発信力をより一層高め、これまで以上に多くの同窓生に情報

をお届けられるよう、体制を強化してまいります。

同窓会のホームページ編集にご興味のある方、技術やデザインに関心のある方、または同窓会の活動に貢献したいとお考えの方は、ぜひお気軽にご参加ください。新しい仲間とともに、同窓会の情報発信をさらに充実させていくことを期待しています。

私自身、これまでシステム設計や開発に携わりながら、ホームページの運営を行ってまいりましたが、近年は多忙な業務が続いております。同窓会ホームページのさらなる発展のためにも、新たなメンバーの積極的な参画が重要だと感じております。今後も支部長や幹事の皆様と連携し、次の世代へスムーズに引き継げるよう努めてまいります。

この素晴らしい同窓会の一員として、皆様にとって有意義な場を提供できるよう努力してまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

URL: <https://tokyo.tagakgk.com/>

編集後記

会報編集室長 小澤 喜宏(昭 53 学子)

今年も、皆様から素晴らしい原稿や写真が届き、感謝申し上げます。「同窓の集い」も完全復活して、その報告や写真集を掲載できるようになりました。

会報編集室長として、今号で5回目の発行となります。編集後記で何を書こうかなと考えていたら、テレビでラーメン店廃業のニュースが流れていました。昨今の食材の高騰と人手不足によりラーメン店の廃業が増えているとのこと。現役時代に海外から成田に着くと真っ先に食べたくなったのが日本のラーメンでした。

それで思い出したのですが、30 数年前のことです。家族でのヨーロッパ旅行でパリに着いたとき、自分だけが体調を崩し市内観光に参加できずホテル滞在となりました。昼過ぎに小腹がすき何か食べようかと外に出たのですが、如何せんパック旅行ですから

ホテルは郊外、周りにはレストランらしきものが無くしばらくうろろうしていたら、日本で見慣れた「ラーメン」と書かれた赤ちょうちんが目に飛び込みました。体調が悪いうえにパン食に飽きていたので、これ幸いと小躍りしながら入店、メニューにあった「味噌ラーメン」を注文しました。そのラーメンのスープを一口すすった時のショックは、人生最大級の残念な事の一つです。なんと、スープがただの味噌汁だったのです。語学力不足で日本の味噌ラーメンとは違うというアドバイス(クレーム)を言うこともできず、パンよりはましかと失意のなか食べきりました。

最近是有名どころのラーメン店が海外進出していますし、訪日外国人が本物の日本ラーメンを食べているので、パリにこんな店はもう絶対に無いと思いますが。

編集室員

小林 渡(昭 38 学電) 小澤 喜宏(昭 53 学子)
加藤 邦治(昭 53 学子)

多賀工業会東京支部会報 【第 28 号】

発行 2025 年 5 月 1 日

発行者 支部長 佐藤 将彦

〒193-0804 八王子市清川町 4-8

TEL 090-8819-7305

2024(令和6)年度 年会費納入者

(敬称略、順不同)

2025(令和7)年1月以降の納入分は、次年度の掲載となります。

氏名の後の○は本年度以降納入、又は既納分(前納)を、氏名の前の□は以前分納入(後納)を示し、中の数字はその年数を示します。

会費ご納入ありがとうございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕のうえ、ご連絡をお願いいたします。
また、これまでの未納分も受け付けています(後納扱い)。
連絡先: 会計幹事 西脇 一樹
Tel: 03-5381-5119
E-mail: nswkzk00@pub.taisei.co.jp

昭17専金 坪能 進	昭38学電 後藤 紀夫	昭41学化 橋川 隆夫	昭46学子 大崎 孝明	昭55学機 前田 博之
昭23専電 塩野 譲	昭38学電 小林 渡	昭41学化 矢島 勝司 ③	昭46学子 栗原 功幸	昭55院電 丸島 國義
昭26専通 菊地 玲二	昭38学電 坂野 栄	昭42学機 小森 廣樹	昭46学子 安田 健博 ②	昭55学精 二方甲子夫
昭28学電 稲見 孝	昭38学電 佐々木登喜夫③	昭42学電 粕谷 利夫	昭46学子 井村 豊	昭56学機 峰村 勝幸 ②
昭29学原 奥野 眞治	昭38学電 寺内 賢一	昭42学電 山田 恵規 ①	昭46学金 今富 久雄	昭56学機 石川 良好 ③
昭31学原 山崎 慎一郎	昭38学電 根本 陽	昭42学精 山本 蕃	昭47学機 西岡 周二 ⑦	昭56院精 田中 克弘
昭31学電 大内 孝	昭38学電 橋本 政巳 ⑦	昭43学機 遠藤 義和	昭47学子 五十嵐喜良 ⑤	昭57学子 氏家 共之
昭31学電 藤川 俊明 ①	昭38学化 大塚 進 ②	昭43学機 藤沼 隆夫	昭47学精 小泉 幸範	昭57学金 若松 洋治
昭32学原 矢野 睦男	昭38学化 白石 道彦	昭43学子 佐藤 将彦	昭48院子 鈴木 幹夫 ②	昭57学情 遠藤 俊夫
昭32学電 山下 正明	昭38学化 高木 二郎	昭43学子 鈴木 弘道 ⑥	昭48学機 宮城 緑郎	昭59学精 高橋 和義 ④
昭33学機 奥 康治 ③	昭38学精 磯部 亮	昭43学子 角田 勇	昭48学機 村上 宗久 ③	昭59学情 40 狩野 宏
昭33学電 島田 直彦	昭38学精 市村 敬司 ①	昭43学子 野崎 淳一 ⑧	昭48学電 佐藤 知康	昭60学電 太田 悦子 ⑥
昭36学機 上月 秀俊 ④	昭38学精 上野 武彦 ①	昭43学子 袴塚 邦彦 ①	昭49学電 坂本 淳	昭52学子 大津 徳久
昭36学機 真下 知行 ③	昭38学精 矢嶋 國男 ①	昭43学化 池上 毅	昭50院精 加藤 清	昭62院機 平尾 直人
昭36学機 森永 隆宏	昭39学電 塚本 文彦	昭43学精 齊藤 央道	昭50院精 駒板 俊樹 ①	昭62学情 大西 孝明
昭36学機 横山 馨	昭39学電 原 俊彦 ②	昭44学子 阿部 正志	昭50学機 松尾 泉	昭62学化 鈴木 葉子 ③
昭36学電 飯村 卓郎	昭39学金 入江 暢泰	昭44学子 石川 久 ①	昭50学子 松田 実 ⑤	平06院電・子 川村 敏雄 ①
昭36学電 小宅 仁 ①	昭39学金 横山 安行	昭44学子 野澤敏矩	昭50学精 岸添 義彦 ②	平06院金 田中 秀樹 ③
昭36学金 小室 哲夫	昭40学電 手塚 勇夫 ①	昭44学金 酒井 茂	昭51学子 仁平 孝 ①	平08学電・子 生井澤伸秋⑤
昭37学機 宮澤 信夫	昭40学電 山崎 輝行	昭44学化 齊藤 昭	昭51学情 秋山 雅俊 ④	平08院情工 山崎 真 ②
昭37学電 佐藤 恭久	昭40学金 松本 二郎	昭44学精 岩波 茂	昭52院金 武藤 和望 ⑦	平10学機 山本 夏江 ②
昭37学電 西川 正登 ①	昭40学化 田中 栄太郎	昭44学精 松村 政行	昭52院金 渡辺 隆	平10学機 吉田 順子
昭37学電 上田 正雄	昭40学精 大泉 雅靖	昭44学精 山口 良治	昭52学子 池畑 隆	平17学電・子 國府田 聡
昭38学機 河上 弘一	昭40学精 寺 紘一 ②	昭45学電 永木 利夫 ③	昭53学子 小澤 喜宏	平19学都 藤井 貴弘 ①
昭38学機 小林 一	昭40学精 堀野 州男	昭45学電 吉田 通廣	昭53学子 加藤 邦治	平21学都 西脇 一樹
昭38学機 駒場 方耀	昭41学機 高橋 伸二	昭45学子 藤枝 伸一	昭53学情 西部 俊憲	平24院情 張 立業 ③
昭38学機 丹下 宏	昭41学機 富田 瑞徳	昭45学精 黒澤 郁雄	昭53学情 高木 利之 ③	
昭38学機 中村 好秀	昭41学機 田山 雄史	昭46学電 飯塚 英一	昭54学機 中根 茂樹 ②	
昭38学電 遠藤 喜久男①	昭41学化 青野 潔	昭46学電 加藤 昌男	昭54学化 星野 行雄	
昭38学電 兼子 八郎 ④	昭41学化 斉藤 保夫	昭46学電 狩野 守	昭54院子 川村 澄	

合計 146名

(前納者、後納者を含みます)

2024(令和6)年度ご寄付者

(敬称略、順不同、単位は円)

昭36学機 上月 秀俊	8,000	匿名希望(1名)	10,000
昭39学電 原 俊彦	24,000		
昭40学精 大泉 雅靖	5,000		
昭38学化 大塚 進	10,000		

ご寄付ありがとうございました

年会費納入のお願い!

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっております。

◇ 『同窓の集い』に参加時、当日受付にて直接納入いただけます。

◇ その他の場合は、ご面倒でも同封の払込取扱票(*)にて、ゆうちょ銀行もしくは郵便局の窓口・ATMで、振込み納入をお願いします。

(なお、払込料金そのものは支部負担となっております)。

(*) ご寄付の場合もこの用紙をお使いください。

私たちはAI技術で 社会課題解決する会社です

私たちエルブズはAI技術で社会課題解決を目指して設立しました。
特に対話技術について研究・開発・事業化に果敢に取り組んでいます。



代表取締役社長 田中 秀樹

茨城大学工学研究科 物質工学専攻 博士(工学)。NTTデータ在職中シリコンバレーにてWebシステム開発のち起業。大学で教鞭をとりつつ、起業家として経験を重ね、2016年2月エルブズ創業。



取締役 西部 俊憲

茨城大学情報工学科卒。NTTデータ 技術開発本部にて、ソフトウェア開発に関わる広範な研究を実施。NTTデータ西日本センター長を経て、NTTデータ COEシステム本部立上げに参画。主として実務業務に従事。NTTデータMSE、NTTデータビジネスシステムズ取締役を歴任。

 株式会社エルブズ 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目9番8号

TEL : 03-6805-1955 FAX : 03-6740-2205
HP : <https://elvez.co.jp> MAIL : info@elvez.co.jp



ワイヤハーネス設計・製作

顧客の信頼を得て58年
有限会社 いすず電機工業所

営業品目：少量多品種対応可

- ◇ワイヤハーネス設計・製作
- ◇各種ケーブル加工
- ◇組立配線

本社 日上市東金沢町4丁目-12-7

TEL 0294-36-6835

FAX 0294-35-2505

ホームページ <https://www.isuzudenki.com/>

代表取締役 小宅 仁 (昭36学電卒)



私たちは大協印刷は、
印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。
ぜひ一度ご相談ください。



大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp

<http://www.daikyo-print.co.jp>

